



不断の安全追求から生まれる安心の獲得

私たちは関わりのあるすべての人たちに対して、さまざまな安全を提供し、
どんなときも安心の評価をいただけるまちづくりを推進します。

地域とともに

パートナーとの協力

社員の職場環境

モールの安全管理

環境への配慮

◆ 防災協定の締結

国内のモールの大半が、防災活動への協力などに関する協定書を地方行政と締結しています。2015年10月にオープンしたイオンモール四條畷では、四條畷市および寝屋川市と当社で地域防災協定を、またイオンリテール(株)と両市が災害時における支援協力に関する協定を締結。非常時にモールが地域の防災拠点として機能するための体制を整えています。



イオンリテール(株)と両市が災害時における支援協力に関する協定を締結。非常時にモールが地域の防災拠点として機能するための体制を整えています。

◆ 防災訓練

万一の災害時にお客さまの安全を確保するために、専門店のスタッフも参加して避難誘導や消火活動などの訓練を定期的に行っています。モールによっては飲料水、簡易トイレ、緊急避難用の大型 TENT「バルーンシェルター」などを備えるほか、一部のモールでは津波やテロを想定した訓練も実施しています。



イオンモールBSD CITY (インドネシア)

◆ 食品衛生管理

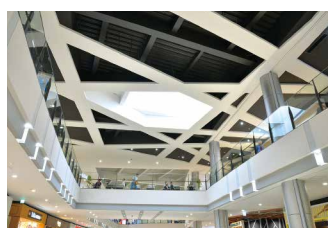
すべてのお客さまに安心してお食事をお楽しみいただくために、当社は食品衛生管理を最重要項目のひとつに位置づけています。食品の取り扱いや日付・温度管理、作業場内の衛生管理、従業員の健康管理など、多岐にわたって独自の厳しいルールを定めているほか、すべての飲食店を対象として定期的に食品衛生調査を実施しています。



飲食店従業員用のトイレ。手を消毒しないと扉が開かないようになっているモールもあります。

◆ 耐震性能の強化

東日本大震災後にオープンしたモールでは、天井の主要箇所において耐震性能をより高めた工法を採用し、メイン通路の天井を膜天井やスケルトン化しています。受水槽も東日本大震災と同規模の地震を想定した耐震性・耐久性を備えています。



◆ 被災時の復興拠点としての機能確保

モールによっては大規模な停電が発生した際にガスインフラを利用した自家発電設備を稼働し、セキュリティシステムや主要な管理諸室へ電源供給を行います。また受水槽に非常用の仮設給水口を取り付けたモールでは、断水・停電時にも飲料水を供給することが可能です。



◆ 反社会的勢力の排除に向けて

2015年11月16日、当社およびイオンモール沖縄ライカムは、「第24回暴力団追放沖縄県民大会・暴力団壊滅那覇市民総決起大会」において、公益財団法人暴力団追放沖縄県民会議名誉会長(沖縄県知事)より表彰状を授与されました。これは当モールの出店契約に反社会的勢力の排除条項を定めるなど、暴力団排除活動に積極的に協力したことが評価されたものです。



館内に設けられた公安所(イオンモール武漢経開)

◆ 天津市・滨海新区の爆発事故についてのご報告

2015年8月12日に中国・天津市の滨海新区で発生した爆発事故では、現場から約2kmに位置する「イオンモール天津TEDA」も被害を受けました。各方面からご心配の声をお寄せいただいたことに、あらためて感謝を申し上げます。

事故が起きたのは8月12日の23時頃です。管理責任者からの電話でモールに駆けつけると、爆風でガラスはすべて砕け落ち、鉄の扉が折れ曲がり、この場で爆発が起きたかと思うほどでした。夜通し従業員の安否確認を行い、盗難の被害を防ぐための目張りを施しました。8月15日には吉田社長が現場に入りましたが、その頃にはモールのある地区も危険だという情報が錯綜し、警察・消防からも明確な情報が得られず、一時撤収を決断しました。実際に立入禁止区域に指定されたのはその直後です。もう再開は難しいという声もありましたが、こんなときこそ地域の復興に全力を尽くすのが使命だという想いがありました。ようやく制限が解除され、復旧作業を再開できたのは9月1日のことでした。東日本大震災での経験もふまえ、従業員には安全・便利さ・見た目の優先順位を守るよう徹底しました。まず消防設備の復旧を再優先し、安全を確保できたら多少不便でも

オープンする。見栄えは最後です。そのうえで、これを機に老朽化していた箇所も一新し、新しいモールとして生まれ変わろうと呼びかけました。オーナー企業や政府の協力もいただいて復旧は急ピッチで進み、9月20日から10月にかけて総合スーパーのイオンを段階的にオープン。事故から81日後の11月1日に全館営業再開となり、従業員がすみずみまで磨いた明るい館内にお客さまの笑顔が戻りました。今回のような事故は事前に想定できませんが、初動が的確だったことが功を奏しました。お世話になっている地域の皆さまに、いま自分たちで何ができるか。そんな意識があれば、すべきことはそれぞれに見えてくると思います。

イオンモール(中国) 商業管理有限公司 董事総経理 中根 健



◆ ユニバーサルデザイン

あらゆるお客さまに安心して快適にお過ごしいただけるよう、当社は2005年から本格的なユニバーサルデザインを導入してきました。また導入後も定期的にアンケートを行うなどしてお客さまからのご意見を伺い、ハード・ソフトの両面から継続的な改善に取り組んでいます。



どこからでも話しかけやすいインフォメーションカウンター。タッチパネル式の館内案内やデジタルサイネージも順次導入しています。



館内には車椅子やベビーカーを配備しています。また、介助が必要なお客さまのために、モール中央入口にインターフォンを設置しています。



広く多機能な「優先トイレ」、お子さま専用設計された「キッズトイレ」、オストメイト対応トイレなどが揃っています。



お体の不自由な方専用の駐車スペースを確保。事前登録制とすることで、必要とされる方が確実に利用できる環境を整えています。